

WE 21Japan News

WE 21ジャパンニュース



特集

エネルギーを使う
便利な暮らしと
世界のつながり



めぐる

CONTENTS

特集	エネルギーを使う便利な暮らしと世界のつながり	1~4
お知らせ	貧困なくそうキャンペーン2011	5~6



貧困なくそうキャンペーン
10月はキャンペーン月間です 2011

No. 60

WE 21ジャパンニュース

私たちの便利な暮らしを支える電気やガスは、ほぼ

100%、海外の資源を輸入することでまかなわれています。

石油や石炭、天然ガスの資源が豊富にある国では、資源の奪い合いから紛争が起き、人びとの命や暮らしをおびやかされる事件が後を絶ちません。今回は、私たちが使うエネルギー資源と、世界の人びとのつながりを考えます。

特集

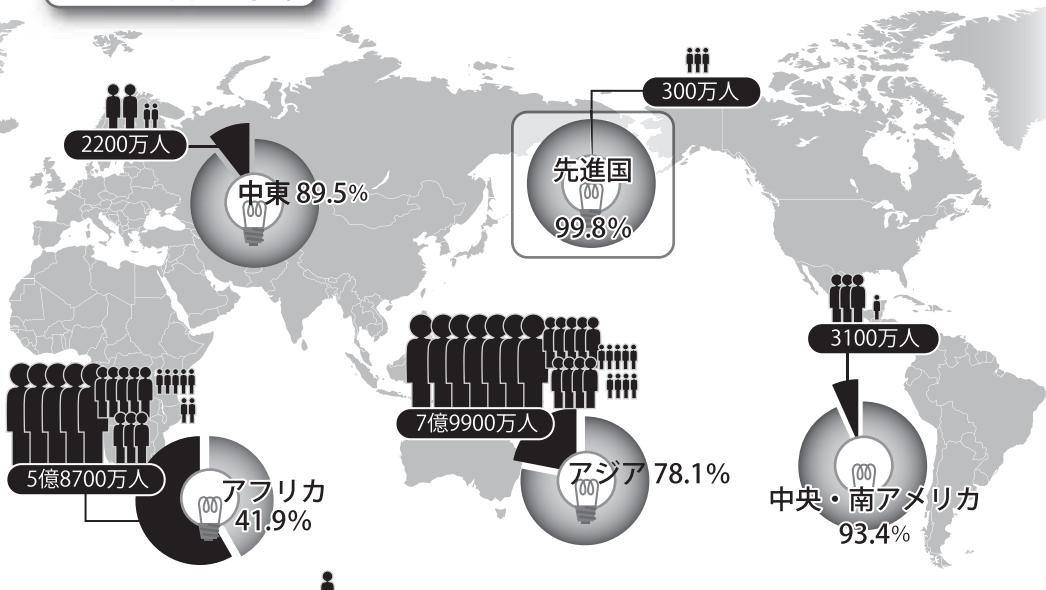
エネルギーを使う

便利な暮らしと 世界のつながり

たくさんのエネルギーを
使う私たちの暮らし

世界の人びとは毎日、どのくらいのエネルギーを使って暮らしているのでしょうか？ アフリカでは、1人あたり100kW/hに満たない電力で暮らしている人びともいます。世界の5人に1人は電気を使えず（14億

発展途上国の電化率



出典：国際エネルギー機関

…電気が使えない人口

人）、薪や炭、動物の糞などを利用して調理したり、暖を取っています。換気のできない室内で燃やすため、毎年、145万人以上が屋内の空気感染が原因で早期に亡くなっています。これはマラリアや結核で亡くなる人よりもずっと多くなっています。

一方、日本では、1人あたり8000kW/hの電力を消費しています。

通常、精製された天然ガスは液体のままパイプラインで運ばれます。日本に輸送するには海を渡る必要があるため、マイナス162℃以下に冷やして液化させ（液化天然ガス（LNG））、タンカーで日本各地のLNG基地へ運ばれます。そして再び液体に戻し、家庭や工場でそのままガスとして使われたり、火力発電の燃料に使われています。

日本にやつてくる エネルギー資源

日本は石油、石炭、天然ガスなどのエネルギー資源を海外に求め、中東をはじめ、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、ロシアなどから調達してきました。電力会社やガス会社、商社、製鉄会社などは、これらの国々で資源の採掘、精製に投資し、日本へ供給するルートを確保してきました。

電気やガスのもとになる天然ガスは、石油に比べて世界各地に豊富にあるため、安定的に供給できる石油代替エネルギーとして注目されてきました。明治初期には新潟県、千葉県、秋田県、北海道でも天然ガスが採掘され、生活燃料として利用されてきましたが、96%は海外からの輸入に頼っています。

主な輸入先は、マレーシア、オーストラリア、インドネシア、カタール、ロシアなどです。

資源はあれど、電気が不足するインドネシア

天然ガスの輸入先の一つであるインドネシアは、アジアの中で最も資源が豊かな国です。1万8000の島々に2億3800万人、27の民族が暮らす多民族国家であります。しかし電化率は54%程度で、電気の来ない村では発電機を使って暮らし、都市部では日常的に停電が発生しています。採掘した資源の多くを日本などへ輸出してしまったため、国内で使える資源が不足し、電力不足となっているのです。

また、資源の奪い合いから多くの人が殺害される紛争が起きたり、開発で環境が破壊され、人びとの暮らしの基盤が奪われたりしています。私たちが便利な暮らしをしている一方で、インドネシアの人びとには一体どんなことが起きているのでしょうか？

インドネシアの村々を歩き、政治や経済、社会の中で弱い立場に置かれている人びとの視点から、人権の問題と日本の関係について見直す調査研究を行う佐伯奈津子さん（NGO「インドネシア民主化支援ネットワーク」）にお話を伺いました。

発見された天然ガスと日本の進出

1971年 アチエ州で天然ガス田発見
1973年 石油ショック
1974年 日本から318億円の円借款 LNG精製工場建設
自由アチエ運動始まる
※30年におよぶ紛争が続く
1977年 天然ガス精製、輸入開始
2004年 スマトラ沖地震
2005年 紛争収束
2007年 日本と経済連携協定（EPA）締結

アチエの天然ガス開発と日本の関係

1973年に石油ショックに直面し、中東への原油依存から脱却を図りたいと代替エネルギーを探していた日本にとって、アチエの天然ガス獲得は重要な意味を持つていました。当時、日本では公害問題が深刻化していました。

※ 日本輸出入銀行：日本にとって重要な海外資源の開発・取得を促進するために、海外政府や日本企業へ融資を行う政府系金融機関。現在の国際協力銀行。

こともあつて、クリーンなエネルギーと考えられている天然ガスは魅力的でした。

日本政府は1974年、アチエの液化天然ガス（LNG）開発のために318億円の円借款を供与しました（同時に発見されたカリマンタン島のLNG開発には242億円）。この見返りは、日本が1977年から20年間に渡って年間750万トンのLNGを輸入することでした。円借款以外にも、日本輸出入銀行※と16の市中銀行（民間銀行）が、日本の電力会社、商社、製鉄会社などで設立したLNG輸入会社を通じて、インドネシアの国営石油公社に協調融資を行っています。つまり、アチエLNG開発は、日本のための国家プロジェクトとも言えるものです。

LNG精製で使われる冷却水によって海水温度が上昇し、魚が獲れなくなったり、工場からの排水が水田や養殖池に流れ込み、皮膚病や下痢になる子どもたちもいました。アチエの人びとは、社会の隅に追いやりられ、貧しいままだったのです。

おびやかされる村びとの暮らし

アチエLNG開発は、インドネシア政府にとって最大の収入源の一つとなりましたが、地元の村々で暮らしていた人びとにはさまざまな問題をもたらしました。

雇用機会が生まれると言われていますが、実際は、従業員の多くはアチエ以外の地域から送られてきました。工場建設のための土地収用の問題は、35年経った現在も解決しておらず、数百世帯が約束された再定住地を求めて座り込みを行っています。

LNG精製で使われる冷却水によって海水



日本の円借款で建設されたアチエの液化天然ガス（LNG）精製工場

このことが、1970年代半ばに、インドネシアからの分離独立を求める「自由アチエ運動」を生み出す原因となりました。それに

対しインドネシア政府は、外国資本を守る名目でアチエに軍を派遣し、軍事作戦を展開します。日本の円借款で建設されたLNG精製工場にも軍が駐屯し、自由アチエ運動のメンバー、支持者と疑われた村人を拷問し、殺害しました。また工場は軍に莫大な警備料も払っていました。この工場による人権侵害への荷担については、アチエ人の被害者がアメリカの裁判所に訴えています。2005年、アチエで17万人以上の死者、行方不明者を出したスマトラ沖地震・津波を受けて、紛争は終結しました。しかし30年間におよぶ紛争で、約2万5000人が殺害されたとされています。

日本の国益のためのLNG開発は、アチエ紛争を生み出し、人権侵害にもつながっています。

輸入される天然ガスの70%は火力発電用、30%は都市ガス用として利用されている。



貧しくても「豊か」に暮らしていきたい

インドネシアでは、天然ガスに加えて、1991年から原発建設計画が持ち上がり、日本のコンサルタント会社が建設予定地の調査を行っています。最近では、日本の原子力関連施設へインドネシアの国会議員が视察に訪れました。日本政府は、



原発建設の予定地にあるバロン村の住民と国家エネルギー委員会の対話

インドネシア民主化支援ネットワークは、現在、新たに開発が進められている地域で暮らす人びとが、第2のアチエとならないよう、現地に足を運んで村びとたちに日本で得られる情報を伝えています。また同時に、日本政府・企業をはじめ、エネルギー資源の恩恵を受けている日本の人たちに村びとの声を伝えています。

日本のエネルギー資源を確保するための開発は、その地域に暮らす人びとの命や暮らしに配慮しながら、細かい調査をして進めていくことが重要です。日本のエネルギー安全保障のためとして、人権や環境に対する配慮がなければ、地元社会に多くのマイナスの影響を及ぼしてしまいます。

福島第一原発事故後も、「海外からの期待があれば原発を輸出する」と表明しています。原発建設の予定地となっているジャワ島のムリア半島に暮らす人びとの多くは、原発建設に反対しています。ゴムやココヤシ農園で低賃金の日雇い労働者が多い村の女性たちは、「きれいな空気も森にも恵まれているから、たとえ経済的に貧しくても「豊か」に暮らしていくける、それを子どもや孫の代に残していくために原発はいらない」と声をそろえて訴えています。

アチエの天然ガスは枯渇しており、日本とインドネシアのLNG売買契約も今後どうなるか分かりません。輸入量の約20%をインドネシアに依存している日本にとって、インドネシアにおけるエネルギー開発は緊急の課題となつておらず、2007年には、インドネシアのエネルギー開発のために援助や資本を供与する、経済連携協定(EPA)が結ばれました。

現在、新たに2つの地域で、液化天然ガスの開発が始まっています。スラウェシ島の「ドンギ・スノロ液化天然ガス(LNG)プロジェクト」では、日本のある企業が天然ガスを液化し輸出する事業の権益を5%保有し、LNGの一部は日本の電力会社へ売却されることが決まっています。

新たな天然ガス開発



海上石油・ガス基地に漁船でデモをする「海の民」バジャウ

海上に基地が建設された村に暮らす「海の民」と呼ばれるバジャウの人びとは、ほとんどが漁業を生業にしていますが、この事業によつてサンゴ礁が破壊され、漁獲量が激減してしまいました。また、天然ガスの採掘、貯蔵、タンカー輸送に必要な港湾として収用される予定の村の男性は、「年2回の収穫で収入を得ていて水田を奪われたら、自分はどうすればいいのか」と不安をあらわしています。

地域で暮らす村びとが開発に関われない

開発の予定地となっている村の人びとは、土地を収用するプロセスが不透明だ、と訴えています。土地収用を拒む人びとは治安部隊に脅迫されたり、土地の測量に不正があつたり、収用に合意しても不適に低い補償金しか

まとめ

2011年4月、原発事故による電力不足を補うため、インドネシアのカリマンタン島から約40万トンの液化天然ガスが日本に追加供給され、東北・関東地方で使われています。

私たちが普段使っている電気やガスが、どこから、どのような人びとの手を渡つてやつて来るのか?自分の暮らしが世界の人びとに支えられていること、そしてつながる先の世界の人びとのことを気にかけることができるのでしょうか?

パプア州で政府からの独立運動に参加し、政治犯として刑務所に収監されている男性は、「政府はパプアの鉱山、海洋・森林資源を見るだけ。パプアに住む人びとのことは見えていない」と言ったそうです。

私たちの暮らしが、世界の別の地域で生きる人びとの命や暮らしを傷つけることのないよう、世界と「私」を結ぶさまざまな「つながり」に思いをはせてみることが、世界から貧困をなくす大きな1歩になるとと思います。



バジャウの人びとが住む海上家屋

貧困なくそうキャンペーン 2011

10/16 世界食料デー

10/17 貧困撲滅のための国際デー

10月は世界の「食料」や「貧困」の問題に取り組む月間として、世界中でさまざまなアクションが行われています。

日本は、東日本大震災で253カ国の人たちから支援を受け、はじめて世界一の「支援される国」になりました。どの国に暮らしているのかは関係なく、困難な状況にいる人を助け、支えあうことの大切さを実感した人も多いと思います。

「貧困なくそうキャンペーン」では、世界の人びとに思いをはせ、貧困のない世界をつくっていくために、WEショップを中心に、クイズ、写真展、講座、コンサートなど、参加型イベントを開催します。お友だちやご家族にも知らせて一緒にご来店ください。たくさんの方にWEショップに来ていただくことで、世界は少しづつ変わっていきます!

※それぞれの地域NPOでは、キャンペーン実施期間、イベント内容が異なります。WEショップまたは、HPにてご確認ください。



WE21いづみ

“ナン”料理体験～アフガニスタンの人たちが食べているナンはどうくる？

みんな育つ元気になあれ！

キャンペーンポスターの子どもたち

2006年 5才 保育園



インド西ベンガル州の村で、楽しそうに給食を食べる子どもたちに出会いました。



DRCSC/インド

こんなに大きくなつたよ！

村びと、現地NGO、そして政府は栄養改善に取り組み、保育園にいた子どもたちも元気に成長しています。



WE21ひらつか

カンボジアへつなぐ道～お買い物してリボンをゲット。カンボジアへの道にリボンを貼つて応援の気持ちを届けよう！



WE21ジャパン・グループ

NPO	住所	TEL	NPO	住所	TEL
WE21ジャパン厚木	厚木市中町3-18-5	046-296-2555	WE21ジャパン青葉	横浜市青葉区柿の木台14-14	045-978-4198
WE21ジャパン相模原	相模原市若松4-13-3	042-744-9799	WE21ジャパンかながわ	横浜市神奈川区松本町2-18-12	045-412-6757
WE21ジャパン海老名	海老名市中央1-14-46-103	046-235-4047	WE21ジャパンほどがや	横浜市保土ヶ谷区川辺町2-2-103	045-334-5140
WE21ジャパン大和	大和市福田1-9-4	046-269-1343	WE21ジャパン旭	横浜市旭区中希望が丘101-21	045-364-3277
WE21ジャパンざま	座間市入谷4-1881-28	046-251-3720	WE21ジャパンみどり	横浜市緑区中山町218	045-937-2656
WE21ジャパン伊勢原	伊勢原市石田670-7	0463-96-5752	WE21ジャパンつるみ	横浜市鶴見区豊岡町13-29	045-573-3235
WE21ジャパンあやせ(準備会)	綾瀬市寺尾中1-8-3	0467-78-8178	WE21ジャパン都筑	横浜市都筑区茅ヶ崎中央30-14	045-948-5596
WE21ジャパンひらつか	平塚市代官町11-30	0463-22-5258	WE21ジャパンこうほく	横浜市港北区大豆戸町60-1	045-547-6241
WE21ジャパンにのみや	中郡二宮町二宮1308-1	0463-71-4421	WE21ジャパンせや	横浜市瀬谷区三ツ境21	045-391-7410
WE21ジャパン藤沢	藤沢市藤沢1102	0466-24-6002	WE21ジャパンいづみ	横浜市泉区中田東3-16-5	045-802-0095
WE21ジャパンちがさき	茅ヶ崎市共恵1-6-20	0467-88-6015	WE21ジャパンいそご	横浜市磯子区森2-1-10	045-761-3198
WE21ジャパンおだわら	小田原市栄町3-12-4	0465-23-2909	WE21ジャパン港南	横浜市港南区港南台3-16-1	045-832-7343
WE21ジャパン寒川	高座郡寒川町岡田351	0467-75-8141	WE21ジャパンかなざわ	横浜市金沢区泥亀1-18-8	045-788-4248
WE21ジャパンたかつ	川崎市高津区溝口3-15-8	044-829-5238	WE21ジャパンとつか	横浜市戸塚区矢部町291	045-866-0088
WE21ジャパンさいわい	川崎市幸区南幸町2-13-1	044-533-1248	WE21ジャパンさかえ	横浜市栄区桂町177-1	045-895-7009
WE21ジャパンたま	川崎市多摩区中野島6-29 4号棟101	044-945-2427	WE21ジャパンみなみ	横浜市南区南太田3-5-4	045-715-4410
WE21ジャパンみやまえ	川崎市宮前区宮前平1-6-14	044-854-6561	WE21ジャパンよこすか	横須賀市根岸町3-15-12	046-837-1788
WE21ジャパンあさお	川崎市麻生区万福寺1-10-3-101	044-954-1348	WE21ジャパン	横浜市神奈川区栄町11-5-3F	045-440-0421

※WE21ジャパン地域NPOがWEショップを運営しています。

※すべてのNPOで、会員、寄付金を受け付けています。

編集後記

ツイッター開設しました！自分のつぶやきが知人へ、またその知人へと次々に伝わっていくのは、まさに口コミのオンライン版。報道では伝わってこない大震災や原発事故の情報を得る時にも役立っています。

世界で起きている貧困問題も自分の身近に感じられるよう、その“つながり”を伝えて、思いを広げていきたいと思っています。
(森田)

WE21ジャパンニュース No.60

発行 2011年10月1日

発行責任者 藤井あや子

特定非営利活動法人WE21ジャパン

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町11-5栄町第2ビル3階

Tel 045-440-0421 Fax 045-440-0440

E-mail:info@we21japan.org

URL:<http://www.we21japan.org/>